

新規・拡充事業一覧

※主な新規・拡充項目については、主なものであるため、事業費総額と合計が合わないことがあります。

部名称	課名称	事業名称	事業費総額		主な新規・拡充項目	主な新規・拡充項目				頁
			令和4年度 要求額 (千円)	令和4年度 最終査定額 (千円)		令和4年度 要求額 (千円)	令和4年度 最終査定額 (千円)	査定内容	査定の詳細	
総務部 警防部	総務課 通信指令課	消防行政統合システム整備事業	314,973	259,269	指揮車運用、予防方面運用に伴うシステム改修	9,684	9,684	要求通り	—	1

# 令和4年度 事務事業予算要求シート (1)

<b>一般会計</b>		<b>要求区分</b>	新規・拡充
<b>事務事業名</b>	消防行政統合システム整備事業	<b>事務事業分類</b>	A 一般事務事業
<b>担当部署名</b>	消防 局 総務・警防 部	<b>事業番号</b>	090-018
			総務・通信指令 課

## I. 基本情報

### 事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	5.強しなやかな都市基盤 ~Resilient~	施策	(1) 自助・共助・公助のバランスのとれた防災・減災力の向上		
			有	取組の方向性	①危機対応力の強化				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—				
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを		ターゲット	11.5,11.b	
			有	取組	「自助」「共助」「公助」の役割分担に基づく災害対策の推進				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—				
		無	現状値	—		目標値	—		
2	関連計画								
3	事業開始年度				平成 14 年度	点検年度		令和 7 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)								

### 事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	消防行政統合システム (①消防指令管制システム②消防OAシステム③消防画像伝送システム)
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	消防行政統合システムの機能を維持し、当該システムを活用して効率的な消防業務が遂行できる環境を確保する。
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など  ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	<p>現行の消防行政統合システムの定期点検・保守管理を実施すると共に、障害発生時等における迅速な修理・復旧を行っている。また、最新のICT技術を導入すると共に、長期使用による経年劣化や耐用年数を考慮し、定期的に機器を更新しており、平成30年度から2か年でシステム更新を実施した。</p> <p>平成30年度は、消防指令管制システムのうち大型マルチディスプレイ、消防電話ネットワークの更新及びNet119緊急通報システムを整備し、消防画像伝送システムのうち高所監視カメラシステム及びヘリコプターテレビ電送装置を更新し、令和元年度は、消防指令管制システム及び消防OAシステムの全般を更新、併せて消防画像伝送システムの一部である衛星地球局も更新し、消防行政統合システムの更新を完了した。</p> <p>令和2年度は映像通報119を整備し運用を開始した。また、大阪狭山市との消防事務委託に伴い、消防行政統合システムに大阪狭山消防署及びニュータウン出張所を追加し、119番通報受信も含め指令体制の強化を図った。</p> <p>映像通報119を使用して119番通報時に通報者から送信された現場映像を消防指令センターで確認し、迅速・的確な災害対応の実施。</p>
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	富士通(株)・(株)日立製作所
10	公民連携・協働事業	特になし

## II. 事業の目標

### 事業の成果や活動実績の測定

	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績		実績見込み		目標	
			令和2年度	令和3年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度	点検年度
11	システムの安定稼働達成日数	日	目標値	365	365	365	365	365
			実績値	365	365			
			達成率	100%	100%			
	当該指標を選定した理由	消防行政統合システムは市民の生命・身体及び財産を火災等から保護することに直結しており、1日でもシステム停止等の重大障害を起こさないため。						
	目標値の設定根拠・算出方法	システム停止等の重大障害の発生なく稼働させた日数						
12	活動指標(成果を上げるための手段)	回	目標値	80	121	121		
			実績値	80	121			
			達成率	100%	100%			
	当該指標を選定した理由	24時間365日安定稼働させるために必要な年間保守点検の実施回数						
	目標値の設定根拠・算出方法	安定稼働に必要な点検回数に対する実際の年間実施回数						

## 令和4年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	消防行政統合システム整備事業	事業番号	090-018
-------	----------------	------	---------

### Ⅲ. 令和4年度予算要求額

#### 事業コスト

(単位：千円)

事業費 (a)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	決算	決算	決算	予算	予算要求
国支出金					
府支出金					
市債	512,600	1,282,900	0	111,900	0
その他 ( )					
受益者負担金(使用料、手数料等)					
一般財源	200,839	480,496	142,529	244,630	314,973

#### 事業費の内訳

(単位：千円)

事業費内訳	主な項目	年度	事業費		主な項目	年度	事業費			
			事業費	うち一般財源			事業費	うち一般財源		
14	消防行政統合システム保守管理業務	R3	予算	75,453	75,453	無線中継車保守管理業務	R3	予算	3,850	3,850
		R4	予算	75,674	75,674		R4	予算	3,714	3,714
	消防行政統合システム改修業務【新規・拡充】	R3	予算	81,178	34,378	衛星地球局保守業務	R3	予算	935	935
		R4	予算	76,129	76,129	119番通報等に係る電話通訳業務	R4	予算	935	935
	消防救急無線保守管理業務	R3	予算	61,796	61,796	役務費及び使用料及び賃借料	R3	予算	46,418	46,418
		R4	予算	71,910	71,910		R4	予算	45,947	45,947
	消防救急無線直流電源装置蓄電池更新業務	R3	予算	0	0	その他 (備品購入費等)	R3	予算	0	0
		R4	予算	37,824	37,824		R4	予算	200	200
	PC・内線電話設定変更業務【新規・拡充】	R3	予算	0	0	消防救急無線基地局移設業務	R3	予算	86,900	21,800
		R4	予算	2,640	2,640		R4	予算	0	0

#### 債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R ~ R	要求額
----	----	-------	-----

### Ⅳ. スケジュール

#### 経過及び今後の展開

16	R3まで	令和2年度から運用を開始した新消防行政統合システムの保守管理 堺市総合防災センター運用開始に伴う必要なシステム改修及び消防救急無線基地局移設など
	R4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・庁内LANPCの導入</li> <li>・IEサポート切れに伴うシステム改修対応</li> <li>・システム改修対応 (指揮車運用、予防方面運用、大阪府救急災害医療システム光化対応など)</li> <li>・近隣市指令センター共同運用に伴う協議及び検討</li> <li>・消防救急無線設備蓄電池更新</li> </ul>
	R5以降	消防救急無線設備蓄電池更新、署活動系無線更新、堺消防署移転事業に伴うシステム整備 デジタル無線更新、システム中間更新

### Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	消防行政統合システム (消防指令管制システム、消防OAシステム、消防画像伝送システムで構成) の常時安定稼働を確保し、当該システムを活用して効率的な消防業務が遂行できる環境を確保するため、上記取組に必要なシステム関連の整備に関する費用を要求するもの。
----	---------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## <課題と対応策>

指揮・安全管理を総括する中隊長は、「災害点の特定」「要救助者の情報収集」「部隊活動方針の決定」「安全管理の徹底」など多岐にわたる活動を行うが、初動時にはこれらのことを1人で行っている。

現状の体制では十分な指揮・安全管理等を行うことができないことが課題であることから、中隊長と隊員からなる署指揮車（中隊長専用車両）を運用し、指揮体制及び安全管理体制の強化を図る。

### 【変更前】

タンク車



中隊長



隊員



× 4名

出場時



到着後



### 【変更後】

指揮車



中隊長



隊員



タンク車



隊員



× 4名



# 消防署予防体制の方面運用について

## 【目的】

- 消防署の予防課の「業務」を集約し、複数の予防課を方面運用とすることで、より効率的かつ効果的に行う体制とするもの。
- 令和4年度に試行し、課題の抽出や検証を行う。

## 【現状・課題】

- 消防署の予防課では、管轄区域の建物数や危険物施設数などにより、処理する業務量に差が生じているが、各署に同じ体制の予防課を配置している。
- 建物の安全を確保するための検査業務や違反処理、危険物規制業務等に偏りがあり、業務量の少ない署では、経験が積めず人材育成を進めにくい。

## 【対応】

- 消防署の予防課の「業務」を集約し、複数の予防課を方面体制として運用し、課題の解消や効率的な事務の執行、人材育成、予防課員の高度・専門化等を図り、予防体制の充実強化を行う。

